Environmental Product Declaration

In accordance with ISO 14025:2006 and EN 15804:2012+A2:2019/AC:2021 for:

パーティクルボード

複数製品 EPD（製品グループの平均値に基づく）

from

東京ボード工業株式会社　佐倉工場

プログラム:	The International EPD® System, www.environdec.com
プログラム オペレーター:	EPD International AB
EPD の種類：	単一製造者による複数製品の EPD
EPD 登録番号:	S-P-05364
発行日:	2026-10-29
改訂日:	2026-10-29
有効期限:	2031-10-29

条件が変更された場合、EPD は更新または公開停止(取り下げ)されることがあります。最新バージョンの EPD の検索および有効性の確認については、www.environdec.com をご参照ください。
This is a self-declared translation of an EPD [S-P-05364] that can be accessed at www.environdec.com and is published for convenience purposes. Only the original EPD is valid and binding between parties.
(※本書は検証済み EPD [S-P-05364] を自主宣言により翻訳したものであり www.environdec.com よりアクセス可能です。利便性を目的として公開されています。当事者間において有効かつ拘束力を持つのは、オリジナルの EPD(英語版)のみです。)



一般情報

プログラム情報	
プログラム:	The International EPD® System
住所:	EPD International AB Box 210 60 SE-100 31 Stockholm Sweden
Web サイト:	www.environdec.com
E-mail:	info@environdec.com

Product Category Rules (PCR)
CEN standard EN 15804 serves as the Core Product Category Rules (PCR)
Product Category Rules (PCR): Construction Products, 2019:14, version 2.0.1
PCR レビュー: EPD® System 技術委員会 議長: Claudia A. Peña、コンセプシオン大学（チリ） 審査委員会連絡先 www.environdec.com/contact

第三者検証
ISO 14025:2006 に準拠した宣言とデータの独立した第三者による検証: ☒第三者検証員による個別 EPD 検証（事前検証済み LCA/EPD ツール不使用） 第三者検証:  柳澤　衛,(株式会社 EPA) 承認: The International EPD® System
EPD 有効期間中のデータのフォローアップ手順には、第三者の検証者が関与します: ☒ Yes　　☐ No

EPD の所有者は、唯一 EPD の所有権を有し、EPD の責任及び責任を負います。

同一の製品カテゴリであっても、異なる EPD プログラムで公表された EPD とは比較できない場合があります。2 つの EPD を比較可能とするには、同一の PCR（第 1 桁のバージョン番号を含む）に基づいていること、同一の機能・技術的性能・用途（同一の宣言単位/機能単位など）をカバーしていること、ライフサイクルステージの評価範囲が同一であること、同一の環境影響評価手法（同一バージョンの影響評価係数を含む）を適用していること、および比較時点で有効であることが必要です。
比較可能性に関する詳細情報については、EN 15804 および ISO 14025 を参照してください。

EPD 所有者情報

EPD 所有者: 東京ボード工業株式会社 https://www.t-b-i.co.jp/
連絡先: t-b-i@t-b-i.co.jp
組織の説明: 東京ボード工業株式会社は、1984 年 4 月にパーティクルボードの製造を開始しました。
1991 年以来、焼却や埋立処分されていた産業廃棄物や一般廃棄物に含まれる森林資源のみを原料とした日本で最初のパーティクルボードメーカーです。
東京ボード工業株式会社 佐倉工場は、2017 年 10 月に操業を開始し、2018 年 7 月にパーティクルボードの日本の工業規格である JIS A 5908:2015 の認証を取得しました。
製品関連または管理システム関連の認証: ISO 14001:2015, ISO 45001:2018, ISO 9001:2015, PEFC-COC.
生産拠点の名称及び所在地: 東京ボード工業株式会社 佐倉工場
〒285-0074 千葉県佐倉市西御門 653-16

製品情報

製品名: パーティクルボード
宣言された製品: 製品平均より判定しています。
製品識別: 下記の表は、曲げ強度、耐水性による分類です。
生産リスト: 下記の表は、本 EPD を網羅する生産リストです。

No.	曲げ強度 ①	耐水性 ②	厚み(mm)
1	13	REG	15, 24, 30
2		REG	20, 25
3		REG	9, 10, 12
4		REG	18
5	18	MR1	30, 31
6		MR1	9, 12, 15, 18, 25
7		MR1	20
8		MR2	9, 11.8, 12

<製品重量>
13: 680-730kg/m3
18: 700-780kg/m3
<曲げ強度>
13: 縦・横方向とも 13.0 N/mm2 以上
18: 縦・横方向とも 18.0 N/mm2 以上
<耐水性>
REG: (通常の耐水性) 製品は建築用の他、家具、キャビネットなどにも使用されています。
MR1: (耐水性 1) 製品は主に建築用 (ベッド、壁、床)、木工部品など。
MR2: (耐水性 2) 製品は主に高い耐水性が求められる建築下地材 (床、壁、幅木)、木工部品など。
製品画像:



UN CPC コード: 31430
製品説明: パーティクルボードは木材を一度小片(チップ)にし、これに接着剤を塗布し、熱圧成型した木材製品です。
暮らしの中の身近なところで数多く使用されており、システムキッチンや収納家具、置床材など、建築、建材、家具・木工分野に多く利用されています。
関連ウェブサイト (詳細情報・説明資料等): https://www.t-b-i.co.jp/

構成材料情報

構成材料		質量, kg	使用済みリサイクル材料, 質量-%	バイオ（生物起源）素材, 質量-%	バイオ炭素量, kg C/宣言単位
廃木材	*1	6.48.E+02	0	100	3.24E+02
接着剤		4.29.E+01	0	0	0
水分		5.12.E+01	0	0	0
合計		7.43.E+02	0	87	3.24E+02

包装材料		質量, kg	製品比, 質量-%	バイオ炭素量,kgC/宣言単位
*2	PP	6.00.E-02	8.08.E-03	0
	Metal	1.00.E-02	1.35.E-03	0
	Total	7.00.E-02	9.43.E-03	0
*3	PE	4.00.E-02	5.39.E-03	0

*1 は全製品の平均重量です
*2 及び *3 はお客様の要望により使い分けます。
注: 1kg の生物起源の炭素は、44/12kg の CO2 に相当します。

SVHC 認可候補リストに含まれる有害物質
本製品には、SVHC 認可候補リストに掲載されている物質が、製品重量の 0.1%を超える濃度で含まれていません。

LCA 情報

宣言単位: パーティクルボード 1m3（質量への変換係数: 743 kg/m³）
基準耐用年数: 基準耐用年数は関係ありません。
算出対象期間: 2024 年 12 月から 2025 年 11 月までに収集されたデータに基づいて計算されます。
地理的範囲: 日本（A1-A3 + C + D）
使用したデータベースと LCA ソフトウェア: Ecoinvent 3.9.1、SimaPro 10.5.0.3（GWP100、EN 15804、バージョン：EF 3.1）
使用 EPD/LCA ツール: 該当なし
システム境界の説明: モジュール C1-C4 及び モジュール D（A1-A3 + C + D）
プロセスフロー図:

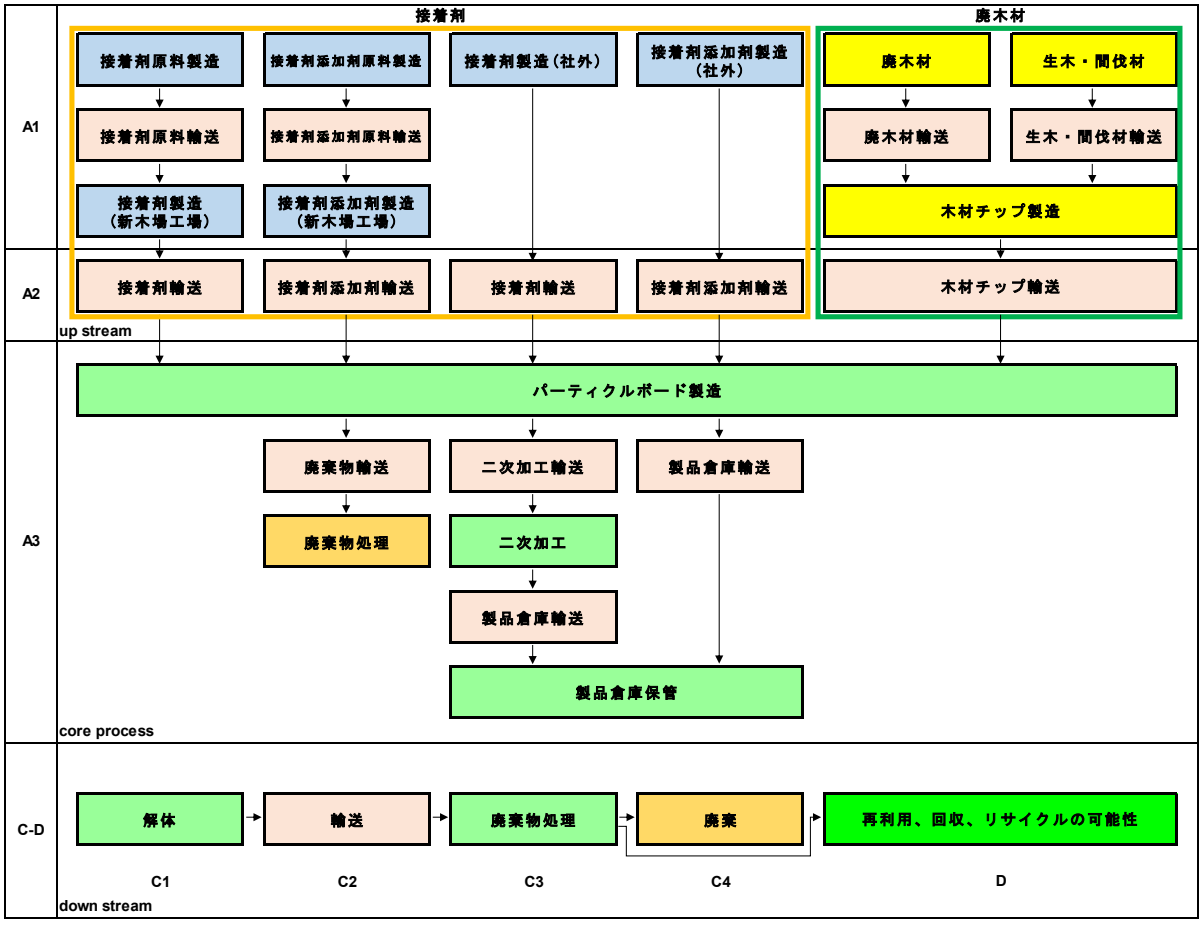


図 1- プロセスフロー図

詳細情報: https://www.t-b-i.co.jp/
カットオフ ルール: データ収集には、主要な原材料とエネルギー消費が含まれます。データが利用可能なすべての単位プロセスの入力と出力が計算に含まれます。総質量またはエネルギーフローの 1% を超える無視された単位プロセスはありません。モジュール固有の無視された入力及び出力フローの合計も、エネルギー使用量または質量の 5% を超えません。
割り当てのルール: この調査では、EN 15804 に従って、物理的特性（質量、体積など）に基づいて割り当てが行われます。
廃木材は本製品の主要な投入材料であり、使用後リサイクル材料に分類されます。配分手順は製造拠点から収集した実績データに基づいています。リサイクル木材の 100%は、前のライフサイクルからの環境負荷を伴わずに本製品システムへと投入されます（カットオフ配分を適用）。なお、投入されるリサイクル材料の GWP-GHG の寄与度は、モジュール A1～A3 の合計 GWP-GHG 結果の 10%未満です。
電力の温室効果ガス排出量: 0.418 kg CO2-eq/kWh（マーケットベース、東京電力の事業者別排出係数、2025 年度）。
シナリオに関する情報: 廃棄モデルは、最も現実的なシナリオに基づいており、日本の首都圏における木材廃棄物処理の平均値を使用しています。

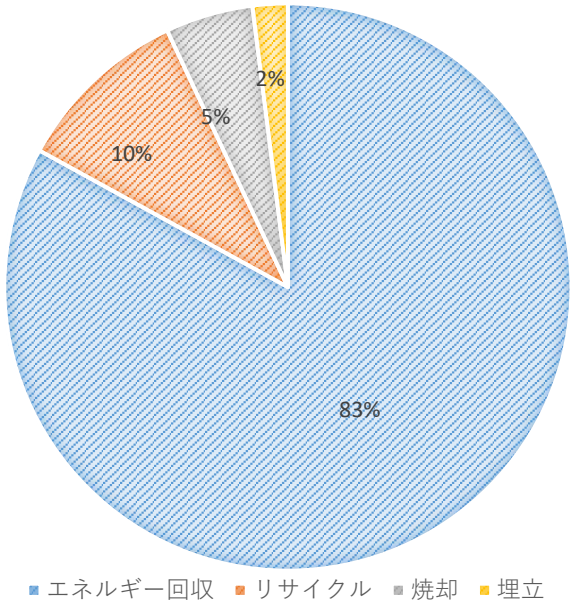


図 2- 廃棄モデル

宣言されたモジュール、地理的範囲、GWP-GHG 算定結果における一次データの割合およびデータバリエーション:

	製品			施工		使用							廃棄				資源回収
	原料供給	輸送	製造	輸送	設置 建設	使用	メンテナンス	修理	置換	改修	エネルギーの使用	水の使用	解体	輸送	廃棄物処理	廃棄	再利用、回収、リサイクルの可能性
モジュール	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
宣言されたモジュール	X	X	X	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	X	X	X	X	X
地理	日本	日本	日本	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	日本	日本	日本	日本	日本
一次データの割合	>34.7%			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バリエーション - 製品	<9%			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バリエーション - サイト	該当せず			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

データ品質宣言:

※データソース、参照年、データカテゴリ、および一次データ割合の宣言

プロセス	データソース	出典	基準年	データ区分	A1-A3 GWP-GHG における一次データ割合
接着剤の製造	データベース	ecoinvent v3.9.1	2023	二次データ	0%
製品の製造	実測・収集データ	EPD 所有者	2025	一次データ	19.8%
廃木材・チップの輸送	実測・収集データ	EPD 所有者	2025	一次データ	11.2%
木材チップの製造	実測・収集データ	EPD 所有者	2025	一次データ	3.7%
その他プロセス	データベース	ecoinvent v3.9.1	2023	二次データ	0%
A1-A3 における合計一次データ割合					> 34.7%

※一次データ割合は GWP-GHG の結果に基づき算出されています。これは EPD の代表性と比較可能性を高めるための簡易的なデータ品質指標です。なお、この指標はデータ品質のあらゆる側面を網羅するものではなく、異なる製品カテゴリ間で直接比較することはできません。

環境パフォーマンス

製品の LCA 評価結果 – 主要な環境パフォーマンス結果

EN 15804 規格に基づく必須影響カテゴリ指標

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）							
指標	**単位**	**A1-A3**	**C1**	**C2**	**C3**	**C4**	**D**
GWP-total	kg CO_2 eq.	-7.72E+02	1.83E+00	3.71E-02	1.20E+03	3.61E-01	0.00E+00
GWP-fossil	kg CO_2 eq.	4.17E+02	1.83E+00	3.71E-02	9.36E+00	3.60E-01	0.00E+00
GWP-biogenic	kg CO_2 eq.	-1.19E+03	1.00E-04	2.20E-05	1.19E+03	3.45E-04	0.00E+00
GWP-luluc	kg CO_2 eq.	4.55E-01	2.21E-05	2.37E-05	2.51E-03	6.45E-05	0.00E+00
ODP	kg CFC 11 eq.	1.73E-05	1.05E-09	5.60E-10	1.64E-07	5.58E-09	0.00E+00
AP	mol H^+ eq.	1.97E+00	4.84E-04	9.32E-05	9.98E-02	2.06E-02	0.00E+00
EP-freshwater	kg P eq.	8.66E-02	1.80E-05	3.53E-06	4.19E-03	5.10E-05	0.00E+00
EP-marine	kg N eq.	6.03E-01	3.13E-04	2.09E-05	5.31E-02	9.76E-03	0.00E+00
EP-terrestrial	mol N eq.	3.90E+00	2.50E-03	2.14E-04	5.10E-01	1.13E-01	0.00E+00
POCP	kg NMVOC eq.	1.57E+00	6.28E-04	1.14E-04	1.30E-01	3.01E-02	0.00E+00
ADP-minerals&metals*	kg Sb eq.	3.67E-03	7.86E-08	1.56E-07	1.62E-05	5.60E-07	0.00E+00
ADP-fossil*	MJ	6.61E+03	4.00E-01	5.07E-01	8.04E+01	4.65E+00	0.00E+00
WDP	m3 world eq. deprived	1.63E+02	3.22E-02	2.28E-03	-7.19E+00	7.83E-01	0.00E+00
頭字語	GWP-fossil = 地球温暖化の可能性 化石燃料; GWP-biogenic = 地球温暖化の可能性 生物起源; GWP-luluc = 地球温暖化の可能性がある土地利用と土地利用の変化; ODP = 成層圏オゾン層の破壊可能性; AP = 酸性化の可能性、累積超過; EP-freshwater = 富栄養化の可能性、淡水末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-marine = 富栄養化の可能性、海洋末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-terrestrial = 富栄養化の可能性、累積超過; POCP =対流圏オゾンの生成可能性; ADP-minerals&metals = 非化石資源の非生物的枯渇の可能性; ADP-fossil = 化石資源ポテンシャルの非生物的枯渇; WDP = 水（ユーザー）剥奪の可能性、剥奪加重水消費量						

[1] 本指標には、GWP-total に含まれるすべての温室効果ガスが含まれますが、生物起源の二酸化炭素の吸収・排出、および製品内に固定・蓄積された生物起源炭素は除外されています。したがって、この指標は旧規格（EN 15804:2012+A1:2013）で最初に使用されていた GWP 指標とほぼ同等です。

* 免責事項: これらの環境影響指標（ADP 等）の結果は、不確実性が高いか、指標の適用経験が限られているため、取扱いに留意して使用する必要があります。算定された影響結果は相対的な評価値であり、影響カテゴリの到達点や閾値超過、安全マージン、リスクを示すものではありません。

製品段階（モジュール A1-A3）の結果を使用する際は、廃棄・使用後段階（モジュール C1-C4）の結果も併せて考慮する必要があります。

追加の環境影響指標

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）							
指標	単位	A1-A3	C1	C2	C3	C4	D
GWP-GHG[1]	kg CO_2 eq.	4.17E+02	1.83E+00	3.71E-02	9.36E+00	3.60E-01	0.00E+00
PM	Disease incidence	1.75E-05	2.65E-09	2.05E-09	1.09E-06	1.80E-07	0.00E+00
IRP	kBq U235 eq.	1.82E+01	4.64E-04	5.07E-04	9.71E-02	3.11E-03	0.00E+00
ETP-fw	CTUe	1.97E+04	3.91E+01	5.93E-01	1.41E+02	2.14E+00	0.00E+00
HTP-c	CTUh	3.50E-06	2.43E-10	1.84E-11	2.58E-08	2.03E-08	0.00E+00
HTP-nc	CTUh	6.59E-06	4.43E-08	3.64E-10	1.22E-06	2.35E-09	0.00E+00
SQP	dimensionless	1.23E+03	1.72E-01	2.13E-01	2.29E+01	1.70E+00	0.00E+00
頭字語	PM = PM 排出による病気の潜在的な発生率; IRP = U235 と比較した潜在的なヒト被ばく効率; ETP-fw = 生態系の潜在的な比較毒性単位; HTP-c = ヒトに対する潜在的な比較毒性単位 - 癌の影響; HTP-nc =ヒトに対する潜在的な比較毒性単位 - がん以外への影響; SQP = 土地利用関連の影響/土壌の質						

資源使用指標

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）							
指標	単位	A1-A3	C1	C2	C3	C4	D
PERE	MJ	2.60E+02	9.42E-03	8.36E-03	2.02E+00	6.54E-02	0.00E+00
PERM	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
PERT	MJ	2.60E+02	9.42E-03	8.36E-03	2.02E+00	6.54E-02	0.00E+00
PENRE	MJ	9.75E+03	5.39E-01	6.06E-01	1.12E+02	6.13E+00	0.00E+00
PENRM	MJ	5.58E+03	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
PENRT	MJ	1.53E+04	5.39E-01	6.06E-01	1.12E+02	6.13E+00	0.00E+00
SM	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
RSF	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
NRSF	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00

[1] この指標は、生物起源の二酸化炭素の吸収・排出および製品に蓄積された生物起源炭素を除く、すべての温室効果ガスを計上します。そのため、生物起源 CO2 の影響評価係数をゼロに設定している点を除き、GWP-total と同じ値になります。

FW	m^3	4.70E+01	5.74E-03	6.94E-04	1.07E+00	1.23E-01	0.00E+00
頭字語	PERE = 原料として使用する再生可能一次エネルギー資源を除く再生可能一次エネルギーの利用; PERM = 再生可能な一次エネルギー資源を原料として利用; PERT = 再生可能な一次エネルギー資源の総使用量; PENRE = 原材料として使用される再生不可能な一次エネルギー資源を除く、再生不可能な一次エネルギーの使用; PENRM = 原材料としての再生不可能な一次エネルギー資源の使用; PENRT = 再生不可能な一次エネルギー資源の総使用量; SM = 副資材の利用; RSF = 再生可能な二次燃料の使用; NRSF = 再生不可能な二次燃料の使用; FW = 水の利用						

廃棄物指標

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）							
指標	**単位**	**A1-A3**	**C1**	**C2**	**C3**	**C4**	**D**
Hazardous waste disposed	kg	3.73E-01	2.64E-05	4.38E-05	1.25E-05	6.35E-04	0.00E+00
Non-hazardous waste disposed	kg	7.52E+01	7.79E-01	1.59E-02	9.53E-03	7.43E+01	0.00E+00
Radioactive waste disposed	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00

出力フロー指標

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）							
指標	**単位**	**A1-A3**	**C1**	**C2**	**C3**	**C4**	**D**
Components for re-use	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
Material for recycling	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	7.43E+01	0.00E+00	0.00E+00
Materials for energy recovery	kg	3.66E+02	0.00E+00	0.00E+00	6.17E+02	0.00E+00	0.00E+00
Exported energy, electricity	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
Exported energy, thermal	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00

追加情報 – 100%廃棄シナリオ(100% End-of-Life scenarios)

リサイクル 100%

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）						
指標	**単位**	**C1**	**C2**	**C3**	**C4**	**D**
GWP-total	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.24E-02	1.19E+03	0.00E+00	0.00E+00
GWP-fossil	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.24E-02	2.04E-02	0.00E+00	0.00E+00
GWP-biogenic	kg CO_2 eq.	1.00E-04	1.33E-05	1.19E+03	0.00E+00	0.00E+00
GWP-luluc	kg CO_2 eq.	2.21E-05	1.43E-05	3.41E-06	0.00E+00	0.00E+00
ODP	kg CFC 11 eq.	1.05E-09	3.38E-10	3.54E-10	0.00E+00	0.00E+00
AP	mol H^+ eq.	4.84E-04	5.63E-05	6.19E-05	0.00E+00	0.00E+00
EP-freshwater	kg P eq.	1.80E-05	2.13E-06	2.04E-06	0.00E+00	0.00E+00
EP-marine	kg N eq.	3.13E-04	1.26E-05	1.19E-05	0.00E+00	0.00E+00
EP-terrestrial	mol N eq.	2.50E-03	1.29E-04	1.24E-04	0.00E+00	0.00E+00
POCP	kg NMVOC eq.	6.28E-04	6.85E-05	5.25E-05	0.00E+00	0.00E+00
ADP-minerals&metals*	kg Sb eq.	7.86E-08	9.45E-08	8.72E-09	0.00E+00	0.00E+00
ADP-fossil*	MJ	4.00E-01	3.06E-01	2.72E-01	0.00E+00	0.00E+00
WDP	m3 world eq. deprived	3.22E-02	1.38E-03	6.13E-03	0.00E+00	0.00E+00
GWP-GHG	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.24E-02	2.04E-02	0.00E+00	0.00E+00
Acronyms	GWP-fossil = 地球温暖化の可能性 化石燃料; GWP-biogenic = 地球温暖化の可能性 生物起源; GWP-luluc = 地球温暖化の可能性がある土地利用と土地利用の変化; ODP = 成層圏オゾン層の破壊可能性; AP = 酸性化の可能性、累積超過; EP-freshwater = 富栄養化の可能性、淡水末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-marine = 富栄養化の可能性、海洋末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-terrestrial = 富栄養化の可能性、累積超過; POCP =対流圏オゾンの生成可能性; ADP-minerals&metals = 非化石資源の非生物的枯渇の可能性; ADP-fossil = 化石資源ポテンシャルの非生物的枯渇; WDP = 水（ユーザー）剥奪の可能性、剥奪加重水消費量					

燃焼 100%

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）						
指標	**単位**	**C1**	**C2**	**C3**	**C4**	**D**
GWP-total	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.96E-02	1.19E+03	0.00E+00	0.00E+00
GWP-fossil	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.96E-02	2.94E-01	0.00E+00	0.00E+00
GWP-biogenic	kg CO_2 eq.	1.00E-04	1.76E-05	1.19E+03	0.00E+00	0.00E+00
GWP-luluc	kg CO_2 eq.	2.21E-05	1.89E-05	5.75E-05	0.00E+00	0.00E+00
ODP	kg CFC 11 eq.	1.05E-09	4.47E-10	4.62E-09	0.00E+00	0.00E+00
AP	mol H^+ eq.	4.84E-04	7.44E-05	1.99E-02	0.00E+00	0.00E+00
EP-freshwater	kg P eq.	1.80E-05	2.82E-06	4.86E-05	0.00E+00	0.00E+00
EP-marine	kg N eq.	3.13E-04	1.67E-05	9.43E-03	0.00E+00	0.00E+00
EP-terrestrial	mol N eq.	2.50E-03	1.71E-04	1.10E-01	0.00E+00	0.00E+00
POCP	kg NMVOC eq.	6.28E-04	9.07E-05	2.90E-02	0.00E+00	0.00E+00
ADP-minerals&metals*	kg Sb eq.	7.86E-08	1.25E-07	5.37E-07	0.00E+00	0.00E+00
ADP-fossil*	MJ	4.00E-01	4.05E-01	3.81E+00	0.00E+00	0.00E+00
WDP	m3 world eq. deprived	3.22E-02	1.82E-03	7.86E-01	0.00E+00	0.00E+00
GWP-GHG	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.96E-02	1.19E+03	0.00E+00	0.00E+00
Acronyms	GWP-fossil = 地球温暖化の可能性 化石燃料; GWP-biogenic = 地球温暖化の可能性 生物起源; GWP-luluc = 地球温暖化の可能性がある土地利用と土地利用の変化; ODP = 成層圏オゾン層の破壊可能性; AP = 酸性化の可能性、累積超過; EP-freshwater = 富栄養化の可能性、淡水末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-marine = 富栄養化の可能性、海洋末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-terrestrial = 富栄養化の可能性、累積超過; POCP =対流圏オゾンの生成可能性; ADP-minerals&metals = 非化石資源の非生物的枯渇の可能性; ADP-fossil = 化石資源ポテンシャルの非生物的枯渇; WDP = 水（ユーザー）剥奪の可能性、剥奪加重水消費量					

埋立 100%

算定結果（宣言単位 1m3 あたり）						
指標	**単位**	**C1**	**C2**	**C3**	**C4**	**D**
GWP-total	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.99E-02	0.00E+00	8.50E-02	0.00E+00
GWP-fossil	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.98E-02	0.00E+00	8.50E-02	0.00E+00
GWP-biogenic	kg CO_2 eq.	1.00E-04	1.77E-05	0.00E+00	1.91E-05	0.00E+00
GWP-luluc	kg CO_2 eq.	2.21E-05	1.91E-05	0.00E+00	1.01E-05	0.00E+00
ODP	kg CFC 11 eq.	1.05E-09	4.51E-10	0.00E+00	1.28E-09	0.00E+00
AP	mol H^+ eq.	4.84E-04	7.50E-05	0.00E+00	7.67E-04	0.00E+00
EP-freshwater	kg P eq.	1.80E-05	2.84E-06	0.00E+00	4.32E-06	0.00E+00
EP-marine	kg N eq.	3.13E-04	1.68E-05	0.00E+00	3.45E-04	0.00E+00
EP-terrestrial	mol N eq.	2.50E-03	1.73E-04	0.00E+00	3.74E-03	0.00E+00
POCP	kg NMVOC eq.	6.28E-04	9.14E-05	0.00E+00	1.13E-03	0.00E+00
ADP-minerals&metals*	kg Sb eq.	7.86E-08	1.26E-07	0.00E+00	3.04E-08	0.00E+00
ADP-fossil*	MJ	4.00E-01	4.08E-01	0.00E+00	1.09E+00	0.00E+00
WDP	m3 world eq. deprived	3.22E-02	1.84E-03	0.00E+00	2.42E-03	0.00E+00
GWP-GHG	kg CO_2 eq.	1.83E+00	2.99E-02	0.00E+00	8.50E-02	0.00E+00
Acronyms	GWP-fossil = 地球温暖化の可能性 化石燃料; GWP-biogenic = 地球温暖化の可能性 生物起源; GWP-luluc = 地球温暖化の可能性がある土地利用と土地利用の変化; ODP = 成層圏オゾン層の破壊可能性; AP = 酸性化の可能性、累積超過; EP-freshwater = 富栄養化の可能性、淡水末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-marine = 富栄養化の可能性、海洋末端コンパートメントに到達する栄養素の割合; EP-terrestrial = 富栄養化の可能性、累積超過; POCP =対流圏オゾンの生成可能性; ADP-minerals&metals = 非化石資源の非生物的枯渇の可能性; ADP-fossil = 化石資源ポテンシャルの非生物的枯渇; WDP = 水（ユーザー）剥奪の可能性、剥奪加重水消費量					

追加の環境情報

リサイクルに関する情報: 本製品は、再びパーティクルボードの原料にマテリアルリサイクルできます。そのためには可塑性樹脂、非鉄金属、布、紙などを取り除くことが必要になります。
システムキッチンや収納家具などの、家具・木工用に使用されたパーティクルボードをリサイクルする際には、可塑性樹脂、非鉄金属、表面部材を取り除く必要があります。
置床材など、建築、建材向けに使用されたパーティクルボードをリサイクルする際には可塑性樹脂、非鉄金属、アジャスターを取り除く必要があります。
EN 規格相当の日本規格: ホルムアルデヒドの試験方法は、日本規格が適用され、EN 規格は適用されません。EN 312 及び EN120 は、EU 市場で適用されていますが、日本市場では同等の標準である JIS A 5908 及び JIS A 1460 が適用されます。

日本産業規格	EN 規格
JIS A 5908	EN312, 1350-1
* JIS A 1460	EN120, 717-1

* JIS A 1460 : デシケーター法
(製品は日本市場でのみ流通、使用されます)
その他の情報: 本製品は木材が主原料です。火気付近での取り扱いは避けてください。また、本製品の寿命を伸ばすには、高湿度の環境での使用は避けてください。
リサイクルに対する考え方: 東京ボード工業のリサイクルに対する位置づけは、木材のカスケード利用（多段階利用）にあてはめるとマテリアルリサイクルに該当します。樹木は大気中の CO2 を吸収しながら成長し、炭素(C)を固定しており、再利用可能な木材をサーマルリサイクルすることは、CO2 の排出を加速させてしまいます。一本の樹木をマテリアルとして最も有効に利用するには、再使用や徐々に小さな素材へ再利用することが望ましく、再使用または再利用している間に適切な植林や間伐が行われ、マテリアルリサイクルが不可能になった木材のみをサーマルリサイクルすることで固定化された炭素の絶対量を増やし続けることができます。つまり、マテリアルとしての資源循環の和（リサイクリング）を回転させることが固定化された炭素量を増やし続け、地球温暖化改善事業になると考えます。なお、マテリアルリサイクルは、素材を再利用するという観点から、サーマルリサイクルの一段階前に位置付けられています。

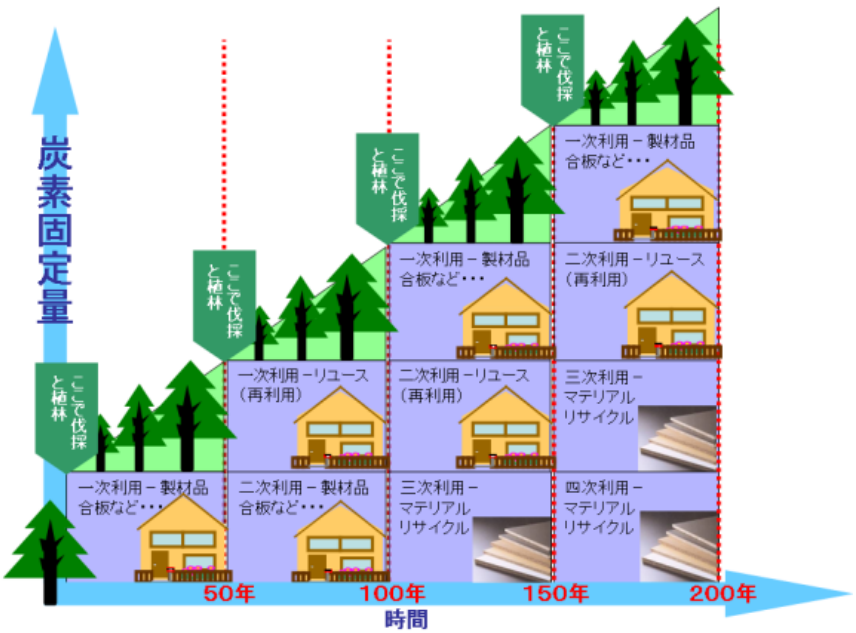


図 3- リサイクリングモデル

* 図 3-リサイクリングモデル内の植林は、一次利用の段階においてライフサイクル影響評価を行うため、本ＥＰＤでは対象外としています。また、ライフサイクルフロー図内の生木は、市場価値のない廃棄されるものを受け入れており、原料確保の目的のために育てている、また植林等を行っているものではありません。

略語一覧

略語	定義・名称
一般的な略語	
EPD	環境製品宣言 (Environmental Product Declaration)
PCR	製品カテゴリルール (Product Category Rules)
GPI	プログラム共通規定 (General Programme Instructions)
LCA	ライフサイクル評価 (Life Cycle Assessment)
ISO	国際標準化機構 (International Organization for Standardization)
EN	欧州規格 (European Norm)
JIS	日本産業規格 (Japanese Industrial Standards)
CPC	国連中央製品分類 (Central Product Classification)
SVHC	高懸念物質 (Substances of Very High Concern)
ND	宣言なし (Not Declared)
JP	日本 (Japan)
PP	ポリプロピレン (Polypropylene)
PE	ポリエチレン (Polyethylene)
CFC 11	トリクロロフルオロメタン (Trichlorofluoromethane)
Sb	アンチモン(Antimony)
NMVOC	非メタン揮発性有機化合物(Non-Methane Volatile Organic Compounds)
MJ	メガジュール(Megajoule)
CTUe	比較毒性単位：生態系 (Comparative Toxic Unit ecosystems)
CTUh	比較毒性単位：ヒト (Comparative Toxic Unit humans)

参照

1. Product Category Rules for Construction Products, PCR 2019:14, Version 2.0.1
2. General Programme Instructions of the International EPD® System. Version 5.0.1
3. EN 15804:2012+A2:2019/AC:2021, Sustainability of construction works - Environmental Product Declarations - Core rules for the product category of construction products
4. ISO 14025:2006 Environmental labels and declarations - Type III environmental declarations - Principles and procedures
5. ISO 14040:2006 Environmental management - Life cycle assessment - Principles and framework
6. ISO 14044:2006 Environmental management - Life cycle assessment - Requirements and guidelines
7. LCA 報告書 (2024.12-2025.11Ver)東京ボード工業株式会社 佐倉工場
8. ecoinvent database Version 3.9.1 (Ecoinvent Centre, www.ecoinvent.org)
9. SimaPro LCA software Version 10.5.0.3

前バージョンとの変更点

2022-01-01 バージョン 1

2022-05-12 バージョン 2
EN 15804: EN 15804 への参照が EN 15804:2012+A1:2013 から EN 15804:2012+A2:2019 に変更。この変更により、環境指標であるモジュール C1 ～ C4 および D 評価が追加。
データ: 収集したすべてのデータを、2021 年 4 月から 2022 年 3 月に更新。

データベースおよび LCA ソフトウェア: LCA ソフトウェアは、自社開発ソフトウェアから SimaPro 9.4.0.2 (Ecoinvent 3.6) に変更。

2023-07-01 バージョン 3
データ: 収集したすべてのデータを、2022 年 4 月から 2023 年 3 月に更新。

2023-08-28 バージョン 3.1
環境パフォーマンス指標の結果: 関連する製品の各指標は、密度毎から平均的な結果に変更。

2023-10-02 バージョン 3.2
環境性能指標の結果: 地球温暖化の可能性-生物起源の計算結果については、A1、A2、C3 のバランスをとるため変更。

2023-10-10 バージョン 3.3
発行日、改定日及び有効期限: 発行日、改訂日及び有効期限を修正。

2024-11-11 バージョン 3.4
データ: 収集したすべてのデータを、2023 年 4 月から 2024 年 3 月に更新。
宣言された製品: 製品平均より判定していることを追加。

2026-10-29 バージョン 4
データ: 収集したすべてのデータを、2024 年 12 月から 2025 年 11 月に更新。
規格・ツールのバージョンアップ： PCR 規格を PCR 2019:14 v2.0.1 へ最新化し、算定ソフトウェアを SimaPro10.5.0.3(ecoinvent3.9.1)へ変更。

EPD®

www.environdec.com